

令和2年11月13日

まちづくり委員会資料

陳情第58号 高齢者や車椅子使用者でも回遊できる生田緑地の遊歩道整備を求める陳情

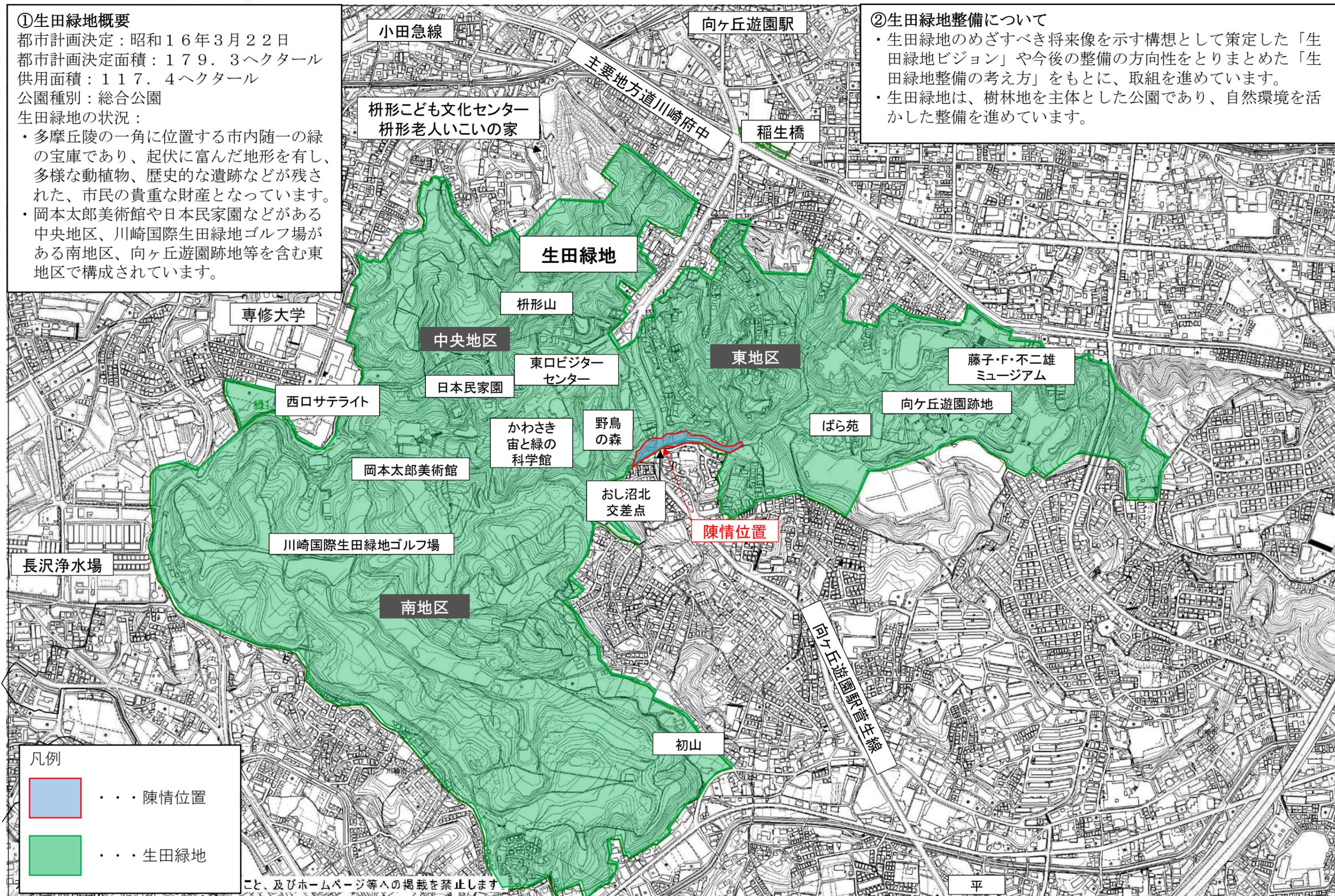
建設緑政局

①生田緑地概要

都市計画決定：昭和16年3月22日
 都市計画決定面積：179.3ヘクタール
 供用面積：117.4ヘクタール
 公園種別：総合公園
 生田緑地の状況：
 ・多摩丘陵の一角に位置する市内随一の緑の宝庫であり、起伏に富んだ地形を有し、多様な動植物、歴史的な遺跡などが残された、市民の貴重な財産となっています。
 ・岡本太郎美術館や日本民家園などがある中央地区、川崎国際生田緑地ゴルフ場がある南地区、向ヶ丘遊園跡地等を含む東地区で構成されています。

②生田緑地整備について

・生田緑地のめざすべき将来像を示す構想として策定した「生田緑地ビジョン」や今後の整備の方向性をとりまとめた「生田緑地整備の考え方」をもとに、取組を進めています。
 ・生田緑地は、樹林地を主体とした公園であり、自然環境を活かした整備を進めています。





陳情第58号 高齢者や車椅子利用者でも回遊できる生田緑地の遊歩道整備を求める陳情

①陳情要旨

高齢者や車椅子利用者でも行き来できるよう、「向ヶ丘遊園駅菅生線」おし沼北交差点付近につり橋などのこ線橋を設置し、周辺の遊歩道を一部ループ橋などの手法も用いるなど、バリアフリー化してほしい。

②現状と課題

- 中央地区からばら苑へ向かうには、様々なルートがありますが、生田緑地の散策路については、緑地の魅力である自然環境や地形を活かし、自然を鑑賞しながら散策いただけるよう整備しています。
- 陳情位置周辺の生田緑地内は、斜面樹林となっており、バリアフリー対応の遊歩道を整備するためには、大規模な造成工事が必要となります。
- 生田緑地内では、中央地区の施設については、エレベーターを設置するなどの段差解消対応やバリアフリーマップの提供などバリアフリーの取組を進めています。また、市バスの運行による回遊性の向上等にも取り組んでいます。
- ばら苑については、開苑中、ばら苑下の駐車場から送迎ワゴン車を運行するなどの対応を行っています。

③陳情に対する本市の考え方

- 仮に、歩道橋を整備した場合も、中央地区と東地区の両エリアを行き来するためには、急な勾配の道路や散策路を通行する必要があることなどから、多額の整備費に対し、整備の効果は限定的であると考えています。
- 大規模な造成工事は、生田緑地の貴重な緑を伐採することとなり、緑地内の自然環境が大きく変化してしまうことなどから大変難しいと考えています。
- バリアフリー対応については、緑地の保全と来場者の利用のしやすきの両立を目指しながら、生田緑地の特性や費用対効果も踏まえ、段差解消等に引き続き取り組んでいきます。